

緑区あちこちマップ

見所案内

第6弾

緑区マスコットキャラクター みどりっち

緑区の魅力満載!

区民みんなでおもてなし!
名古屋市緑区のおすすめスポットやお店、イベント情報などを掲載!
「ちょっとコース」と「ゆったりコース」のウォーキングコースがあり、5地区でお好みの歴史散策が楽しめます。
緑区の隠れた魅力や、ゆったりと温かみのあるおもてなしをこのマップとともに体感してください。

緑区の魅力を動画でチェック!

武蔵、紋り、山車、酒蔵、カフェなど、緑区の多様な見どころをYouTubeでご覧ください。

YouTube いるとどろり緑区 検索

英語版散策マップもあります。
This guide map is also available in English.

鳴海コース

芭蕉の足跡
東海道の宿場町であった鳴海のまちと芭蕉ゆかりの史跡を巡るコース

バス停 ● まちかど案内所 ① おみやげ ② 飲食店 ③ その他

ちょっとコース①
約2.0時間 (約4km)

1 高札場
江戸時代、東海道鳴海宿(現在の本町交差点北東の角)にあり、法度類などを民衆に周知する札札を掲示した。平成21年に復元。

2 誓願寺
1573年創建。西山浄土宗。千代倉家の菩提寺。芭蕉最古の供養塔(市指定文化財)は、1694年、如意寺で建碑された後、永井士前(永井荷風の曾祖父)により移転された。同時に細山山の芭蕉お手植えの杉古木で彫刻された芭蕉像が建てられた。

3 天神社
成海神社はこの場所に創建され、1394年、安原備中守宗龍が鳴海城を築城する際に移転した。鳴海城は橋狭間の戦いの時、岡部元信が城主で落城せず、合戦後に今川義元の首と交換で明け渡した。境内に3つの芭蕉句碑がある。

4 円龍寺
約900年前は天台宗。真宗大谷派。橋狭間の戦いで寺を焼失。寺宝の秘仏薬師如来は龍の蓮花臺に立ち、これにより円龍寺となる。ここは鳴海鹿野の跡でもある。

5 瑞泉寺
1396年創建。曹洞宗。「曇峰」の雄大な字体的山門は中興時に宇治の賢榮宗万福寺の総門を模したといわれる県指定文化財である。法堂の裏に龍王堂があり、蛇にまつわる龍王伝説がある。

6 成海神社
686年創建。日本書紀に「成海宮宮媛命、建御命を祀る。境内に「初秋や海も青田の一みどり」の芭蕉句碑がある。

7 千鳥塚
1687年、鳴海六仙山の寺島安信宅で「星崎の闇を見よとや啼く千鳥」の歌仙が完成したのを記念して建てられた。(市指定文化財)

8 千鳥塚
1687年、鳴海六仙山の寺島安信宅で「星崎の闇を見よとや啼く千鳥」の歌仙が完成したのを記念して建てられた。(市指定文化財)

9 千鳥塚
1687年、鳴海六仙山の寺島安信宅で「星崎の闇を見よとや啼く千鳥」の歌仙が完成したのを記念して建てられた。(市指定文化財)

徳重コース

緑豊かな伸びゆくまち
趣ある里山や扇川を巡るコース

バス停 ● まちかど案内所 ① おみやげ ② 飲食店 ③ その他

1 要池
扇川は古名を黒末川と言って黒石から流れ、流域最大の池にちなみ要の意味で名づけられた。現在は周囲をコンクリートで固められた調整池となっている。

2 神沢池
扇川の支流の神沢川へ流れる神(熊野社)の池。周囲は江戸時代に尾張藩の御林であり、現在も当時の自然を残している。

3 熊野社
伊賀藩・伊福部連命が祀られており、熊野三社に源がある。

4 扇川
桜並木や花壇、川にはコイ・フナ・カメ、岸にはアオサギ・カモなどが訪れて四季折々の風情が楽しめる。

5 大池
昔は赤松池といわれ、緑区の中央を流れる扇川の源流である。

6 大池
昔は赤松池といわれ、緑区の中央を流れる扇川の源流である。

7 大池
昔は赤松池といわれ、緑区の中央を流れる扇川の源流である。

8 大池
昔は赤松池といわれ、緑区の中央を流れる扇川の源流である。

9 大池
昔は赤松池といわれ、緑区の中央を流れる扇川の源流である。

鎌倉街道コース

緑区東部にも、歴史のつまった見どころがあります。

鎌倉街道コースを歩きたい方、コースの詳細をお知りになりたい方は、鳴海歴史倶楽部に連絡ください(裏表紙参照)。

1 相原郷諏訪社
鎌倉幕府ができた戦いの神として諏訪社の祭神建御名方神の信仰が厚くなり勧請されたといわれる。

2 鎌倉街道
この街道は、当時、京一鎌倉往還と言われ、地域の生活道を生かして整備された道で、源頼朝もこの道を通って京へ上っている。

3 鎌倉街道
この街道は、当時、京一鎌倉往還と言われ、地域の生活道を生かして整備された道で、源頼朝もこの道を通って京へ上っている。

4 鎌倉街道
この街道は、当時、京一鎌倉往還と言われ、地域の生活道を生かして整備された道で、源頼朝もこの道を通って京へ上っている。

5 鎌倉街道
この街道は、当時、京一鎌倉往還と言われ、地域の生活道を生かして整備された道で、源頼朝もこの道を通って京へ上っている。

有松コース

日本遺産のまち
東海道と町並み
江戸時代の情緒に触れる紋りの産地〜藍染が風にゆれる町並み〜歴史ある有松のまちを楽しむコース

バス停 ● まちかど案内所 ① おみやげ ② 飲食店 ③ その他

1 有松・鳴海校舎
1984年に、有松校工協同組合が建設。紋りの歴史や技術を学ぶことができ、実演も見られる。紋り体験も可能(要予約)。

2 4つの時代の町家
江戸・明治・大正・昭和の各時代の建物を町並みに見ることが出来る。

3 竹田庄九郎碑
1608年、如多の阿久出庄から移ってきた庄九郎がこの地で紋りの技術を考案したといわれる。碑は昭和7年にその功績をたたえて建てられた。

4 服部邸
有松を代表する建物で、屋号は井桁屋。創業は今から約200年前。有松の家建築の特徴のすべてを備えた建物。(県指定文化財)

5 竹田邸
江戸期と思われる豪麗な建築形態をよく残し、一種の建造物としては有松で現在一番大きい。特に軒下の豪麗な美しい波型(のたれ造り)が特徴。(市指定文化財)

6 岡邸
江戸時代末期の建築。重厚な紋り間屋の建築形態をよく残し、一種の建造物としては有松で現在一番大きい。特に軒下の豪麗な美しい波型(のたれ造り)が特徴。(市指定文化財)

7 小塚邸
江戸時代後期の建物で、明治期まで紋り間屋を営んでいた。どしどしと大きく立派な有松の紋り間屋の形態をよくとどめている。(市指定文化財)

8 一里塚
街道の両側に1里(約4km)ごとに土を盛り、道のり目標とした塚のこと。2012年に平成の「有松一里塚」としてよみがえった。

観光ボランティアガイドのご案内

ガイドの案内で、緑区の魅力をゆったりとお楽しみください。
【申込方法】電話にて事前にご相談ください。
【受付時間】9:30~17:00(橋狭間地区は10:00~16:00)
※受付時間内でも、対応できない場合がありますのでご了承ください。

有松地区 有松あないびとの会
連絡先 有松・鳴海校舎館
(年末年始、6月第1日開催の絃りまつりの前後3日は休館)
☎052-621-0111 FAX 052-621-6051
費用 ガイド1人あたり1,000円
※ガイドは来訪者10~15人ごとに1人派遣(少人数でも案内可)

橋狭間地区 橋狭間古戦場保存会ガイド部
連絡先 橋狭間古戦場観光案内所
(10:00~16:00 夏季・年末年始閉所日あり)
☎/FAX 052-755-3593
費用 ガイド1人あたり1,000円(史跡保存協力金)
※ガイドは来訪者10~15人ごとに1人派遣(少人数でも案内可)

大高地区 大高歴史の会
連絡先 ☎090-8952-8610(深谷 篤さん)

鳴海・徳重地区 鳴海歴史倶楽部
連絡先 ☎090-1981-3007(須原 敏行さん)

■市バス・地下鉄 ☎052-522-0111 (8:00~19:00)
■名古屋鉄道 ☎052-582-5151 (8:00~19:00、土日は18:00まで)
■JR東海 ☎050-3772-3910 (6:00~24:00)

SNSで情報発信中!
Facebook [緑区 みどりっち] Instagram [midoriku_midorich]

発行 緑区観光推進協議会
事務局/名古屋市長区役所地域推進室
☎052-625-3878 FAX 052-623-8191

緑区観光推進協議会: 緑区内の商工会・市民団体・区役所などが協力し、緑区の特徴ある観光資源を活用し、きめ細かな「おもてなしの心」にあふれ、ゆったりとした観光を味わっていただく、平成22年に設立。

大高コース

神話に彩られたまち
古代を彩る神社をはじめ、戦国町下町の名残をとどめる町並み、酒蔵を巡るコース

バス停 ● まちかど案内所 ① おみやげ ② 飲食店 ③ その他

1 寝覚の里
明治時代、熱田神宮の宮司が日本武尊と宮妻姫命の故事から碑文を創った。この地は昔海岸で、潮がうち寄せて毎朝潮騒の音で目覚めたという伝説がある。

2 秋葉社
祭神は火之近江彦神。昔大高町は火事が多く、防火の神の御霊をお招きして祀ったといわれる。江戸時代には多くの市がたち、にぎわった。この付近は「辻」と呼ばれ、大高の中心であった。

3 大高城跡
橋狭間の戦いでは今川方の守りは頼朝長頼、松平元康(後の徳川家康)による「大高城兵糧入れ」は有名。堀の一部が残り、昭和13年、丸根・鷲津磐跡とともに国指定の史跡。

4 水上姉子神社
195年創建。熱田神宮の孫。日本武尊と結婚した宮妻姫命は、尊の死後、草薙剣を守護し、晩年におよんで熱田に宮庭を定め、神剣を奉った。

5 酒蔵のある町並み
大高の酒造りは江戸時代のはじめから盛んとなり、如多酒造で江戸で評価を高めた。

6 酒蔵のある町並み
大高の酒造りは江戸時代のはじめから盛んとなり、如多酒造で江戸で評価を高めた。

7 酒蔵のある町並み
大高の酒造りは江戸時代のはじめから盛んとなり、如多酒造で江戸で評価を高めた。

8 酒蔵のある町並み
大高の酒造りは江戸時代のはじめから盛んとなり、如多酒造で江戸で評価を高めた。

9 酒蔵のある町並み
大高の酒造りは江戸時代のはじめから盛んとなり、如多酒造で江戸で評価を高めた。

桶狭間コース

信長路を歩く
「桶狭間の戦い」の歴史ロマンを求め、ゆかりの史跡を巡るコース

バス停 ● まちかど案内所 ① おみやげ ② 飲食店 ③ その他

1 有松・鳴海校舎
1984年に、有松校工協同組合が建設。紋りの歴史や技術を学ぶことができ、実演も見られる。紋り体験も可能(要予約)。

2 4つの時代の町家
江戸・明治・大正・昭和の各時代の建物を町並みに見ることが出来る。

3 竹田庄九郎碑
1608年、如多の阿久出庄から移ってきた庄九郎がこの地で紋りの技術を考案したといわれる。碑は昭和7年にその功績をたたえて建てられた。

4 服部邸
有松を代表する建物で、屋号は井桁屋。創業は今から約200年前。有松の家建築の特徴のすべてを備えた建物。(県指定文化財)

5 竹田邸
江戸期と思われる豪麗な建築形態をよく残し、一種の建造物としては有松で現在一番大きい。特に軒下の豪麗な美しい波型(のたれ造り)が特徴。(市指定文化財)

6 岡邸
江戸時代末期の建築。重厚な紋り間屋の建築形態をよく残し、一種の建造物としては有松で現在一番大きい。特に軒下の豪麗な美しい波型(のたれ造り)が特徴。(市指定文化財)

7 小塚邸
江戸時代後期の建物で、明治期まで紋り間屋を営んでいた。どしどしと大きく立派な有松の紋り間屋の形態をよくとどめている。(市指定文化財)

8 一里塚
街道の両側に1里(約4km)ごとに土を盛り、道のり目標とした塚のこと。2012年に平成の「有松一里塚」としてよみがえった。

桶狭間コース

信長路を歩く
「桶狭間の戦い」の歴史ロマンを求め、ゆかりの史跡を巡るコース

バス停 ● まちかど案内所 ① おみやげ ② 飲食店 ③ その他

1 戦評の松
今川方の藩名氏後がこの松の下で戦いの評議をしたといわれる。また旧暦の5月19日、今川義元の亡きが真夜中に白装束で白馬に乗って現れたとの伝説がある。

2 長福寺
1538年創建。ここで今川方の首の検証が行われたといわれる。今川義元と家臣の松井宗信の木像が安置されている。

3 桶狭間古戦場公園(田楽坪)
古来より田楽坪と呼ばれ今川義元最期の地と伝わる。信長と義元の戦跡「近世の陣」が立つ。

4 井伊直盛陣地跡
今川方の井伊直盛陣地の跡地があった所で、直盛(直虎の父)はこの地で戦死したと伝わる。

5 釜ヶ谷
中島誓から雷雨の中を進軍してきた織田軍が、ここに潜んで今川本陣への突撃の機をうかがっていたところ。

6 七ツ塚
桶狭間の戦いで勝利した織田信長に命じられ、村人が東西に七つの穴を掘り、戦死者をうろ塚を作ったと伝わる。

7 桶狭間神社
祭神は美濃武尊。桶狭間の戦いの時、瀬名氏後が戦勝祈願したといわれ、その折奉納した酒桶が残されている。

8 戦評の松
今川方の藩名氏後がこの松の下で戦いの評議をしたといわれる。また旧暦の5月19日、今川義元の亡きが真夜中に白装束で白馬に乗って現れたとの伝説がある。

9 高根山
今川方の前哨。松井宗信隊がこの地に着陣。織田方の動静を監視していたところ。善照寺塔、鳴海城方面が眺望できる。

10 井伊直盛陣地跡
今川方の井伊直盛陣地の跡地があった所で、直盛(直虎の父)はこの地で戦死したと伝わる。